

1 病害虫の発生状況

8月23日の黒星病発生状況調査結果では、右表のとおり、「幸水」、「豊水」で発病がやや多くなっており、また、8月の降水量が多く、今後の黒星病秋型病斑葉の発生が懸念されます。

一部地域では、ナシヒメシンクイが平年よりも多くトラップに誘殺されています。

表 8月中旬の黒星病発生果そう率(%)

品種	R4	R3	R2	R元
幸水	<u>6.2</u>	7.3	8.5	2.7
豊水	<u>4.3</u>	2.4	1.0	1.5
あきづき	1.5	0.3	0.5	1.0
新高	0.3	0.3	0.1	1.1

2 これからの防除について

黒星病対策（黒星病秋型病斑葉の発生防止、来年の黒星病発生防止）のため、以下の内容で防除を実施して下さい。

例年、「幸水」以降の品種にシンクイムシ類やハマキムシ類の果実被害が多い園地では、18回目の防除にアグロスリン水和剤（2,000倍、収穫前日まで、年間3回以内）を加用してください（収穫の終わった品種に散布する必要はありません）。

「豊水」など収穫時期を迎えている品種は、注意事項を参考の上、適正な農薬の使用をお願いします。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	散布液量	主な対象 病害虫	防除 実施日
18	9月9日 (13:00以降) ~10日 (※1)	ナリアWDG 2,000倍	前日 (※2)	300ℓ	黒星病	
※ナリアWDGは、全品種が防除対象となります。						

【注意事項】

- ※1 18回目の防除が、降雨等で実施できなかった場合は、9月12日（13:00以降）～13日に実施して下さい。
- ※2 収穫期間近あるいは収穫期間中となるので農薬の使用時期（収穫前日数）に十分注意してください。「収穫前日」の薬剤は、散布後24時間以上あけて収穫し、周囲の収穫園にも十分気を配りましょう（万が一、散布後24時間以内に収穫した場合は、果実を廃棄してください）。

作業に当たっては、こまめに水分を補給するなどして、熱中症に留意してください。